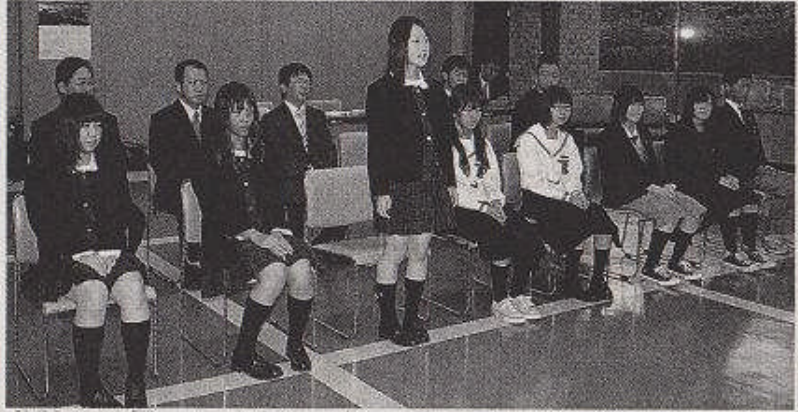


コンコードで「交流深めたい」

姉妹都市 七飯の中生ら8人壮行式
交流訪問



【七飯】米国マサチューセツツ州コンコード町への姉妹都市交流訪問団(団長・馬場修一副町長、団員14人)の壮行式が7日、町役場で開かれた。一行は11日から21日まで11日間の日程で、現地でホ

んできて」と激励した。西町は1997年に姉妹都市提携を締結。公式訪問は16回目。七飯、大中山、大沼中学校と七飯高校の生徒計8人と引率教諭、町民代表の社会人3人、町職員ら計14人で訪問団を構成し、8月から事前研修として、七飯の歴史や文化について学んできた。生徒たちはコンコードで6日間、ホームステイをしながら、七飯高校の姉妹校でもあるカーライル高校に通学。現地の文化や歴史を学ぶほか、ボストンやニューヨークを視察する。

壮行式で生徒たちは「コンコードに行くのが夢で、うれしい」「音楽を通じた交流を深めてきたい」などと抱負を語った。団長の馬場副町長は「七飯を代表する友好親善大使として、これまで築いた両町のきずなをより強いものにした」と述べた。

大中山中学校2年の橋本一空君(14)は「海外に行くのは初めて。楽しむことを忘れずに、アメリカの歴史や文化を学んできたい」と話していた。(今井正一)